

## 第2回 江南区体育施設指定管理者申請者評価会議

### 議事概要

- 日時 平成30年10月16日(火) 午後1時45分～午後4時30分  
※亀田地区体育施設 午後1時45分～  
※横越総合体育館 午後2時45分～
- 場所 江南区役所 3階 入札室
- 評価会議委員(4名)(五十音順、敬称略、全員出席)  
牛山幸彦 (新潟大学教育学部 保健体育・スポーツ科学講座 教授)  
小嶋 徹 (関東信越税理士会新潟支部税理士) (税理士法人信越会計 代表社員)  
横田 隆 (新潟市江南区体育協会 理事長)  
涌井隆行 (横越スポーツ振興会 理事長)
- 事務局 江南区産業振興課 主幹 佐藤、主事 佐藤、主事 清水
- 傍聴者 0名
- 結果 指定管理者申請者(1団体)から提出された事業計画書等について、公開プレゼンテーション及びヒヤリングを行い、各委員による採点・評価を行った。その結果、委員4名の合計平均点数が基準点を超えるとともに、すべての項目においても基準点を超える点数であった。

発言者	内容
<b>新潟市江南区亀田地区体育施設 公開プレゼンテーション</b>	
申請者	公益財団法人 新潟市開発公社 発表
事務局	質疑応答
牛山委員	<input type="checkbox"/> 工夫したい事業、新規事業について詳しい説明をお願いしたい。
申請者	<input checked="" type="checkbox"/> 亀田地区体育施設は地域の方から多くご利用されているが、30代～40代の方の利用が多くないところが課題だと感じている。そういった方々に武道場の棟をランニングステーションとして開放し、施設を知ってもらうことで継続した利用に繋げていきたい。
牛山委員	<input type="checkbox"/> 公平な運営という点で、障がい者やLGBTの方に対する配慮や改善

申請者	<p>はあるのか。</p> <p>■スタッフは平等研修を受講している。また、外国人への配慮として、タブレット端末の翻訳機能を活用して対応している。</p>
牛山委員	<p>□施設の設備として、障がい者の方に配慮はしていくのか。</p>
申請者	<p>■他施設に比べて多目的室が少ないことは課題だと感じているが、施設の改修ということになるため、今は別部屋を充てて対応している。所管課にも協議のうえ、改善に繋げていきたい。</p>
牛山委員	<p>□eスポーツの企画があるが、これまでの実績はあるのか。</p>
申請者	<p>■実績はないが、新潟市外の市で検討しているという情報もあるため、情報を収集しながらになる。</p> <p>現在お使いいただいている利用者が不便に思わず、新規の利用者をどのように獲得するかを検討している。</p>
牛山委員	<p>□eスポーツは今までのスポーツとは違うもののため、会場設営等も違う形になると思うが、具体的な企画はあるのか。</p>
申請者	<p>■現時点では、大きな大会ではなく、大会の一部を開催するなどを検討している。また、VRゴーグルをつけて身体を動かすといったスポーツもある。初めての試みであること、JOCではまだスポーツとしての扱いになっていないため、所管課とも協議しながらになる。</p> <p>ただし、今まで施設を使っていなかった利用者を獲得するといった視点から取り組んでいきたい。</p>
小嶋委員	<p>□経営理念について、亀田地区体育施設独自の経営理念ではなく、新潟市開発公社の経営理念に基づき運営を行うのか。</p>
申請者	<p>■新潟市開発公社の経営理念に基づくとともに、経営方針を8つ打ち立てている。</p>
小嶋委員	<p>□具体的に、社員たちにどのように経営理念・経営方針を浸透させているのか。</p>
申請者	<p>■経営方針に基づいて、年間の目標を定めている。今年は3つほどだが、目標をポスターにして掲示している。</p> <p>また、年度始めの職員研修で年間の目標を周知し、目標を共有している。</p>

小嶋委員	□従事者の労働条件・人員配置について、災害を想定した避難訓練をされていると思うが、実際に停電した場合はどうなるのか。
申請者	■自家発電がある。48時間は災害時でも備えはある状態。
小嶋委員	□ハッピーパートナー企業の基準適合により認定を受けているとあるが、いつから認定を受けているのか。
申請者	■今年度に認定された。
涌井委員	□自主事業の提案にフラダンスがあるが、一般的にフラダンスはなじみが少ないかと思う。フラダンスを発表するというのは参加人数が多いなど理由があるのか。
申請者	■亀田総合体育館で開催しているフラダンス教室の参加者が多いことと、同じくアスパーク亀田内にある江南区文化会館で発表会をできるということが参加者のモチベーションに繋がっていることもあり、開催している。
涌井委員	□参加者としては、年齢は高めなのか。
申請者	■亀田地区体育施設は50代以上の方の参加が多い。その方たちがいきいきと参加している姿を見ていることもあり、発表会はこれからも続けていきたいと考えている。
横田委員	□子ども向けの教室は継続するのか。
申請者	■柔道場の稼働率を上げる取り組みとして、子ども向けマット運動教室を武道場で開催している。 1・2年生、3・4年生が対象だが、定員を超える応募がある。 武道場をお使いいただいている柔道などの競技にも波及してほしいという願いもあることから、今後も継続していきたい。
横田委員	□子どもを持つ親はチャンスがあればスポーツさせたいという思いがある。ぜひとも継続していただきたい。
牛山委員	□亀田総合体育館は利用者が多い。さらに人数を増やすということは、空き時間の利用者を増やすということになるかと思う。先ほどご説明のランニングステーションのほかに、利用者数を増加させる企画があれば教えてもらいたい。

申請者	<p>■現在お使いいただいている利用者にとって、不便にならないよう配慮しながら検討をしていく。</p> <p>新たな取り組みとしては、日頃お使いいただいていない方を市民モニターという形で募集し、施設を利用してもらいご意見を聴収する。得たご意見は施設運営に繋げていく。</p> <p>また、稼働率が高くないところをピンポイントに、教室を開催するなどの取り組みで、継続的な利用に繋げていこうと考えている。</p> <p>天候に左右される屋外施設も、稼働率がなかなか伸びないため、屋外施設についてはイベントを開催し、まずは施設を知ってもらうことから取り組んでいきたい。</p>
牛山委員	<p>□障がい者スポーツも普及・発展させていかなければいけないと思う。地域の施設との連携といった点で、区内にある障害者交流センターなどとタイアップしていく企画はあるのか。</p>
申請者	<p>■協力しながら、車いすバスケットボールやボッチャの体験会を共に開催したいと考えている。また、日頃の管理運営の部分でも、施設にこちらから足を運んで勉強不足な点は教えていただくなど、協力体制もあることから、今後も協力体制は深めていきたい。</p>
小嶋委員	<p>□自主事業は誰が提案するのか。</p>
申請者	<p>■スタッフの中にスポーツ教室のリーダーがいる。基本的にはリーダーのスタッフが考えるが、お客様の意見も教室開催の際やアンケートなどで聴収しており、スタッフ間で話し合いながら、可能な限り次年度の計画に盛り込んでいる。</p>
	<p>公益財団法人 新潟市開発公社 発表終了</p>
	<p>公益財団法人 新潟市開発公社 退出</p>

発言者	内 容
<b>意見交換会</b>	
各委員	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価委員の最終採点・集計</div>
	<p>事務局 合計平均点数で判断する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新潟市江南区亀田地区体育施設</div>
	<p>事務局 110 点満点中、合計平均点数は 89.25 点。  また、すべての項目において基準点を上回っている。  したがって、「公益財団法人 新潟市開発公社」は、新潟市江南区亀田地区体育施設の指定管理者の候補者として能力を有すると評価してよろしいか。</p> <p><input type="checkbox"/>はい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">評価会議 終了</div>